

令和 7 年 1 月 31 日

保護者の皆様へ

新居浜市立泉川中学校
校長 久保 善嗣

令和 6 年度 学校評価アンケート結果及び分析のお知らせ

厳寒の候、保護者の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。昨年末は、ご多用のところアンケートへのご協力ありがとうございました。教職員、保護者ならびに生徒のアンケート結果を取りまとめましたのでお知らせいたします。この結果を真摯に受け止め、来年度の教育活動を充実させていきます。学校ホームページにカラー版をアップしていますので、そちらもご覧ください。

1 アンケートについて

	教職員	保護者	生徒
回答者数	19人	121人	234人
実施期間	令和 6 年 12 月 2 日(月)～20日(金)		
実施方法	Google フォーム		

2 アンケート結果

評価項目は教師用のものに生徒・保護者の項目を当てはめています。なお、評価欄の上段数字は、【4=そう思う、3=ややそう思う、2=あまりそう思わない、1=そう思わない】の平均、下段は昨年度からのポイントの増減を示しています。【3.5 対以上 2.5 対以下、昨年度比 0.2 対以上増 0.2 対以上減】

No.	評価項目	評価		
		教職員	保護者	生徒
1	生徒は充実した学校生活を送れている。	3.4 -0.2	3.4 ±0	3.5 -0.1
2	生徒は目標を持って学校生活を送れている。	3.0 -0.3	3.1 +0.1	3.3 +0.1
3	学校は、地域とともにある学校づくりを進められている。	3.7 -0.1	3.3 +0.1	
4	学校からの情報（連絡文書等）は適切に提供されている。	3.6 +0.2	3.2 ±0	3.2 ±0
5	分かる授業ができるよう努めている。	3.4 -0.1	3.0 ±0	3.2 -0.1
6	地域の環境や人材が、教育活動に生かされている。	3.8 ±0	3.2 ±0	3.2 -0.2
7	生徒の学力は向上している。	2.5 -0.2	2.5 ±0	2.8 ±0
8	生徒が計画的に家庭学習に取り組める工夫をしている。	2.7 -0.1	2.4 -0.1	2.8 -0.1
9	生徒のあいさつは、よくできている。	3.1 -0.1	3.2 -0.1	3.5 ±0
10	生徒は、社会のルールや学校の決まりが守れている。	3.1 ±0	3.3 ±0	3.6 ±0
11	生徒の学校での様子を保護者に伝えたり、積極的に生徒や保護者の相談に応じたりしている。	3.5 +0.4	3.1 -0.2	3.2 -0.4
12	いじめのない学校づくり・学級づくりに取り組んでいる。	3.6 +0.2	3.0 ±0	3.4 ±0
13	どの先生も、同じ方針で生徒指導ができている。	3.1 +0.2	3.0 -0.1	3.4 -0.2

14	生徒一人一人の良さを認め、伸ばそうと努めている。	3.6 +0.2	3.2 +0.1	3.2 -0.1
15	学校は、校内の環境美化に積極的に取り組んでいる。	3.1 -0.1	3.3 ±0	2.9 -0.1
16	生徒会活動や学校行事は、充実している。	3.4 -0.2	3.3 ±0	3.5 -0.1
17	部活動は、充実した活動になっている。	3.4 ±0	3.2 +0.1	3.4 -0.1
18	生徒は、地域の一員としてESDやボランティア等に進んで参加している。	3.5 -0.1	2.4 -0.2	2.4 -0.4
19	人の生き方や将来の夢・希望について、しっかり考える機会や場を設けている。	3.2 -0.1	2.9 +0.1	3.1 -0.1
20	生徒は思いやりの心を持ち、友人を大切にすることができている。	3.3 ±0	3.4 ±0	3.8 ±0
21	学校と地域が協働して行っている教育活動は、子ども・学校・地域にとって有益である。	3.7 +0.1	3.4 ±0	3.4 -0.2
22	電子黒板やタブレット端末等の利用に積極的に取り組んでいる。	3.3 -0.3	3.3 -0.1	3.6 -0.1

3 アンケートの分析について

(1) 成果

- 「学校は、地域とともにある学校づくりを進められている。」についてのポイントが高い。地域の強力なバックアップのおかげで、円滑に学校行事が進められていることを、教職員が身をもって感じていると思われる。
- 「生徒のあいさつは、よくできている。」についてのポイントが高い。地域の登校の見守りボランティアの方々が、小学校の頃から継続して登校時の声掛けをしてくださっているのおかげで、挨拶が根付いていると考えられる。
- 「生徒は、社会のルールや学校の決まりが守れている。」についてのポイントが高い。必要に応じてルール改正があり、生徒にルールを守る意識が高まっているものと考えられる。
- 「生徒は思いやりの心を持ち、友人を大切にすることができている。」についてのポイントが高い。真面目で、素朴で、素直な生徒が多い。小学校から、地域で見守られて、地域で育てられた子どもたちだからこそ、周りを大切に育っているものだと考えられる。

(2) 課題

- 「生徒の学力は向上している。」についてのポイントが低い。学力の二極化が激しく、学習意欲が低い生徒が増えているように感じる。全項目の中でも最重要課題であり、ドリル学習等を取り入れるなどの手立てが必要だと考えている。
- 「生徒は、地域の一員としてESDやボランティア等に進んで参加している。」について教職員と比較して、生徒・保護者のポイントが低い。大好き泉川の日などのボランティア活動に参加している生徒は多いが、それをボランティア活動として捉えていなかったり、全体的な意識が高いため自己評価が低くなってしまったりすることが生徒・保護者のポイントが低い要因だと考えられる。生徒が行っている活動の位置付けを確認するため、ボランティア通帳をより有効に活用していきたい。
- 「生徒が計画的に家庭学習に取り組める工夫をしている。」について、保護者の全項目の中で最もポイントが低い。学校は、家庭での学習教材を出しているが、家庭で学習する姿を見ていない場合があるのではないかと考える。課題の出し方や保護者への周知方法を工夫したり、既存のテスト計画表を活用したりすることが必要であると考えられる。